

給食ボランティア感謝状贈呈

甲斐房子さん(上押方)に給食ボランティア感謝状が贈呈されました。

甲斐さんはふれあい給食サービス事業に15年7ヶ月従事され、本町の福祉事業に尽力してこられました。

「ふれあい・助け合い・分かち合いのある、良い環境だった。利用者からの感謝の言葉や、毎日頑張つてと送り出してくれた家族のおかげで15年間続けてこられた。後任の方々には、身体に気をつけて頑張つてほしい」と述べていました。



広澤克実杯全日本地域対抗選手権大会優勝報告

高千穂中2年生の新名藍翔(あいた)さんが広澤克実杯全日本地域対抗選手権大会優勝の報告をおこないました。

新名さんは5月9日〜10日に開催された同大会に九州選抜チームのセンターとして出場。4打数2安打の活躍でチームを勝利へ導きました。報告では、「レベルの高い選手たちと戦つたことで、もっと上を目指したいと思つた。来年もチームで活躍出来るよう努力し、選抜メンバーに選ばれ、日本代表から世界を目指し頑張りたい」と述べていました。



100歳のお誕生日 おめでとうございます



これからもお元気で
お過ごしください

佐藤幸子さんが、めでたく100歳を迎えられました。幸子さんは、7人兄弟の5番目として下組(鬼切畑)で生まれました。

上野尋常高等小学校を卒業後は家で農業を手伝い、22歳の時に時義さん(15年程前に他界)と結婚。4人の子どもを育て、現在では孫9人、ひ孫10人に恵まれています。

小学校では6年間皆勤賞を貰うなど、しっかり者で働き者の幸子さんは、時義さんと結婚後も、牛・たばこ・菊・水稻・しいたけ・炭焼きなどの農業に精を出されています。また、縫物も得意で、自分の服を解体して家族の服を一から作っていたそうです。現在もポーチなどを作って皆さんに差し上げているそうです。

日中は、縫物の他に週刊誌を読んだり、クロスワードパズルやスケルトンパズルを解いて過ごしているとのことですが、テレビでのスポーツ観戦もお好きで、特にご自身もされていたバレーボールを観戦するのがお気に入りようです。

娘さんらは「一日でも長生きしてほしい」と話していました。